

「第6回県民フォーラム意見報告書」の概要

水源環境保全・再生かながわ県民会議では、昨年度から県内5地域で開催してきました「水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム」のまとめとして、2月11日に第6回県民フォーラムを開催いたしました。

このたび、この第6回県民フォーラムの参加者からの意見等を取りまとめた報告書を作成しました。

○ 第6回県民フォーラムの開催状況

- ・テーマ 水源地・森林再生の第2ステージに向けて～全国の経験から学び、全国に発信する～
- ・日時 平成21年2月11日（水・祝） 11：00～17：15
- ・会場 杜のホールはしもと ほか
- ・参加者数 326名 ・意見数 88件（51件の県などへの意見のほかパネリストへの質問等）

○ 意見の概要

（1）森林の保全・再生事業に関すること

- ア 森林再生に向けた人材の確保を早急に進めてもらいたい。
- イ 環境に矛盾しない林業の経済性を創出し、自立できる環境をつくってもらいたい。
- ウ 間伐材の利用促進を図ってもらいたい。まずは、行政が積極的利用を行う必要がある。
- エ 整備した私有林は、将来の木材の値上がり時に備え、販売権や土地の公有化を検討すべきである。

（2）水源環境への負荷軽減事業に関すること

- ア 相模湖・津久井湖において、早急で抜本的なアオコ対策を行ってもらいたい。
- イ 単独浄化槽から合併浄化槽への切り替えを進めてもらいたい。

（3）地下水の保全対策に関すること

- 里地里山の保全、湧水の保全が必要である。

（4）情報の提供・理解の促進に関すること

- ア 施策の必要性、事業実績や目標達成度などを分かりやすく情報提供してもらいたい。
- イ 環境学習を積極的に行ってもらいたい。

（5）ボランティア支援に関すること

- ア 森林整備のための高額な道具や技術料などに対して、行政の支援が必要である。
- イ 身近に参加活動できる森林整備の場の提供が必要である。

（6）県外対策に関すること

- 県が上流圏に助成し、山梨県と森林整備を進めてもらいたい。

（7）その他

- ア 水源環境を保全するためには、水源地域の発展も必要である。
- イ 水源保全施策は水源地域を支える生き物の保全を考えて取り組んでももらいたい。
- ウ この施策とはほかに丹沢大山の自然再生事業や森林再生50年構想など様々な取り組みが行われているが、連携して取り組んでももらいたい。
- エ 水源地域の残土処理場、ごみなどをなくしてもらいたい。